

Glacial Action News

ローカル×グローバル
高校生の新たな学び方

令和6年度 Vol.1



Topic 1

1・2年生のグローバル課題研究が始まりました!

1年生の取り組み

1年生はすべての科コースをシャッフルして、課題研究の授業用のクラスを再編成しています。これはクラスや科コースの枠を飛び越えることで多様な価値観を共有し、協調性や協働性を育むことを目的としています。授業では自主性と積極性に重きを置き、生徒自身の考えを伝えるアウトプット型の展開が主となります。グローバルマインドや課題研究スキルについては「プロデュース型」と「仮説検証型」の2つの型を、授業での実践を通して体験しながら身につけていきます。その後は、



自己探究を経て、自身の所属するゼミについて考えていきます。

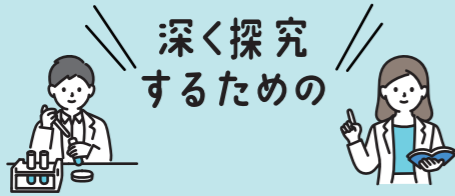
2年生の取り組み

2年生は生徒自身の興味関心と将来の進路選択に応じて、23のゼミの中から1つを選択して研究を進めていきます。今年度は190を超える研究テーマが校内で行われており、日々の取り組みに関してはQareerのサービスを利用してフィードバックを行っています。特に研究初期段階の問い立てや研究テーマの策定については大学生サポーターから親身なフィードバ



ックが得られるので、研究の方向性を決めていく上で役立てています。第三者の意見をもとに自身の研究をブラッシュアップしていくことを目的に、中間報告を年3回行い、1月末に全校規模で学内発表会を実施して集大成とします。また、学内発表会で優秀な発表グループについては2月にハレノワ（岡山芸術創造劇場）での発表の場が与えられます。





高校1年後半から高校2年生の間、生徒たちは自身の興味に沿った分野のゼミを選び、課題発見や課題解決の道筋の付け方を学びます。研究内容は自分の一番興味のあること。今年度の研究テーマは152個にも上ります。ゼミ活動の成果は、国内外のコンテストで広く発信していきます。自分の学びを大学の研究に繋げ、高校生うちに深い探求心を育てます。

教育系ユニット

学習成果・部活動探究ゼミ
養護・保健教育ゼミ
小学校教育ゼミ
幼児教育ゼミ

このユニットでは、教育学に関連するゼミが集まっています。部活動が与える影響について研究したり、保健教育や幼児教育に焦点を当てたりと多岐にわたります。研究テーマは「人数による長距離走への影響」や「集中力と睡眠時間やスクリーンタイムとの関連性」、「幼児期からの英語教育がもたらすこと」、「子ども食堂から子どもの貧困を考える」など、教育活動に関わることは広くカバーしています。特に部活動や勉強などは自分事にしやすく、研究での取り組みが



みがそのまま普通の授業や練習などにフィードバックできています。他にもSDGsの観点から授業を考案して実際に近隣の小学校に出前授業を実施して経験を積んだり、子ども食堂に焦点を当てて貧困について考えたりと、時流に沿ったテーマも多く、生徒自身の進路選択と合致した研究が進められています。

人文社会系ユニット

経済政策ゼミ
法律司法ゼミ
歴史ゼミ
言語コミュニケーションゼミ

本校の課題研究活動には、文系ユニットの一つとして「人文社会ユニット」があります。このユニットは、経済政策ゼミ、法律司法ゼミ、歴史ゼミ、言語コミュニケーションゼミで構成され、社会的・地域的な課題に対して、高校生の立場からアプローチできる点が魅力です。経済政策ゼミ・法律司法ゼミでは、誰にとっても身近なものである法律、政策等に対して問いを立てるため、社会的意義の大きい研究を行うことができます。言語コミュニケーションゼミ・歴史ゼミは、言



語や歴史といった人々が積み重ねてきたものに焦点を当てて研究を行うことができるのが特徴です。ゼミによっては公民館や役所に赴き、インタビューやワークショップを実施する機会もあり、急速に変化する社会の中で、課題を発見する能力やそれを解決する能力を養うことができます。

科学系ユニット

データサイエンスゼミ
自然環境調査ゼミ
物質科学ゼミ
海洋研究ゼミ

このユニットは、理系ユニットとして、科学に関連するゼミが集まっています。化学実験を通して物質について追求したり、観察・観測を通して環境問題に取り組んだり、多様なデータを活用して課題を分析しているゼミがあり、「手の汚れのないお菓子の開発」、「生物季節観測」、「アパートの防音を構造で解決」、「チヌの鱗からコラーゲン」といったテーマなど、理系に関することを広くカバーしています。自身の理系的な興味関心をSDGsの目標達成や社会貢献へ向ける



ための考え方を育成します。実験室での作業や、シミュレーションソフトや人工知能を使った解析、実際にフィールドに出る観測など、自分のテーマに関した技能も身につけることができます。理系の研究に真剣に向き合う経験は、生徒自身の進路選択や実現にも大きく影響し、科学の未来を担う原点になるかもしれません。

創造系ユニット

デザイン活用ゼミ
音楽活用ゼミ
ビジネスアイデアゼミ

創造系ユニットでは、生徒それぞれの『アイデア』から広がっていく研究を扱っています。ここではデザイン活用ゼミ、音楽活用ゼミ、ビジネスアイデアゼミの3つが所属しています。それぞれデザ



インや音楽の知識を持つ教員や、ビジネスの世界にいた教員が指導する、専門性に富んだユニットになります。今年のテーマとしては、心理学とデザインの影響から学校の食堂を居心地の良い空間に変える研究、地元のスーパーマーケットを分析してより理想的なスーパーを提案する研究などがあります。自分の興味から社会課題を見つけることに重点を置きながら各ゼミの活動を行っています。

地域協働系ユニット

地域活性化ゼミ
地域観光ゼミ
社会福祉システムデザインゼミ

このユニットでは、社会学や地域学、観光学、社会福祉論など、地域と関係するユニットが集まっています。地域が対象となるため外部に出て調査・研究をするゼミが多く、研究テーマとしては「ファ



ジャーノ岡山の観客数を増やそう!」や「瀬戸内市の観光について」、「地域をつなぐ歌作り」といったテーマで研究が進んでいます。生徒自身の出身地をフィールドにして、地域活性に取り組んだり、地域住民の防災意識調査を通して防災対策について思案したり、3世代交流会イベントの企画と運営を通して地域の絆を深める活動をしたりと、地域密着型の研究を各々のゼミで深めていきます。

国際系ユニット

国際開発と国際協力/多文化共生ゼミ
平和と外交ゼミ
カンボジア探究ゼミ

このユニットでは、開発学や国際協力論、国際関係論、国際理解などに焦点を当てたゼミが集まっています。「多文化共生に向けた支援の現状と課題」や「タリバン政権下のアフガニスタンへの教育



支援」、「カンボジアにおける出稼ぎ労働者」といったテーマで研究が進んでおり、時には生徒自身の見識を広げるためにJICA職員をお招きして講演をしてもらったり、岡山にある支援団体のボランティアに参加したりと、国際支援のために高校生が私たちができることについて各々の研究グループが深めていきます。

スポーツと健康系ユニット

スポーツ社会ゼミ
医療看護ゼミ



スポーツと健康系ユニットには、将来スポーツを通じた健康増進・社会貢献を目指す生徒や、看護、理学・作業療法、薬学、医学などの医療の道を目指す生徒が在籍しています。睡眠不足の父親を助けようとしている保健師志望の生徒や、時代と共に変化する体力テストの今後について研究する生徒、心理カウンセリングにおける人工知能の可能性を模索する生徒など、多岐にわたる研究が展開されています。

EIGOKAゼミ

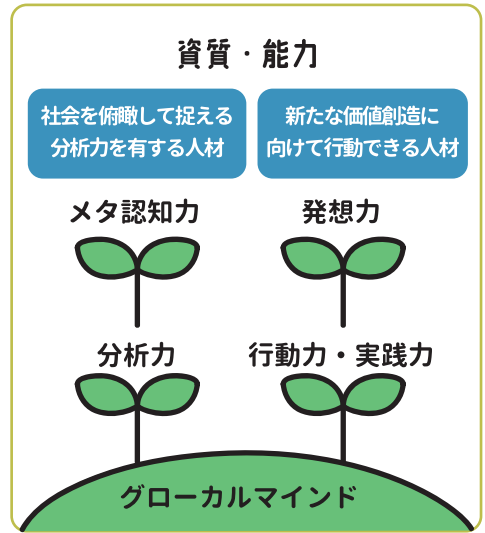
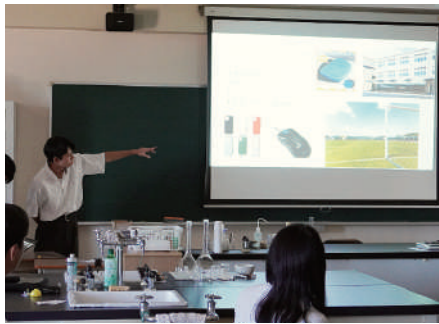
英語科2年生はカナダ・オーストラリア1カ年留学生活の中で、ボランティアや現地の先生や生徒へのインタビューなどを通じて、日本と世界を比較した探求に取り組んでいます。



自分自身の興味関心を探究し、将来の進路選択に活かす！

グローバル課題研究の3年間の学び

岡山学芸館高校の課題研究では、「これからの地域社会を創造するグローバルリーダーシップの育成」を目的として授業が展開されています。高校1年生では確かな分析力と課題発見力、そして自身の興味関心について認知していき、高校2年生では行動力・実践力を発揮していきます。こうしてグローバルマインドを育み、高校3年生では自身の進路について内省し、将来に活かしていきます。



1年 研究手法の習得

- ・自己探究
- ・探究スキルの取得
- ・課題の認識と発見

2年 課題研究活動

- ・テーマ別課題研究
- ・実践活動の必須化
- ・国内外フィールドワーク

3年 まとめと振り返り

- ・探究の振り返りと発信
- ・進路探究

地域の社会課題解決

岡山東備地区の課題

岡山市・瀬戸内市・備前市・赤磐市



- ・地方の国際化
- ・都市計画・まちづくり
- ・生物多様性
- ・都市交通
- ・人口減少
- ・環境負荷軽減など

岡山から世界へ



世界の社会課題解決

世界・グローバルな課題

カンボジア・フィンランド・インドネシア



- ・途上国教育問題
 - ・環境汚染問題
 - ・経済に関する問題
 - ・保健医療問題
 - ・女性と社会の問題
- など

高校1年生の課題研究の特徴は、全ての科コースをシャッフルして課題研究の授業用のクラスを再編成すること。クラスや科・コースの枠を飛び越えることで多様な価値観を共有し、協調性や協働性を育てていきます。

授業は、自主性と積極性に重きを置き、生徒自身の考えを伝えるアウトプット型の展開が主となります。また課題研究を行う上で重要となる探究スキルの修得のため、正しいデータの入

手法や読み取り方、パワーポイントでのまとめ方などを学びます。やがて自分自身が何に興味関心があるのかを突き詰める自己探究を行い、年度末のゼミ選択に備えていきます。

高校2年生では生徒は自身の興味関心と将来の進路選択に応じて、多くのゼミから1つを選択して研究を進めます。各ゼミでは生徒がゼミ長を務めて生徒主体でゼミ運営をしています。校外にも積極的に飛び出し、フィールドワークやヒアリングなどの実践活

動をしっかりと行い、研究の質を高めていきます。年に数回発表会を実施し、第三者の意見をもとに研究をブラッシュアップします。1月末には全校規模で学内発表会を行い、優秀な発表グループは2月に岡山芸術創造劇場での発表の場が与えられます。

こうした2年間の課題研究の学びを通して、自身の進路に向けて自信を持った選択ができるようになっていき、高校3年生からの進路探究に活かしていきます。

課題研究広報誌 Glocal Action News 令和6年度 Vol.1 2024年11月1日発行

発行 岡山学芸館高等学校 課題研究運営部

〒704-8502 岡山市東区西大寺上1丁目 19-19

☎ 086-942-3864

Facebook

